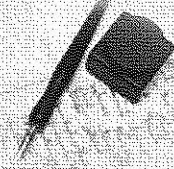


校長のひとり言



私の「食文化」

私は食事について心がけているものがあります。お断りしますが、「グルメ」や「大食漢」ではありません。食べることを大切にしたい。旅先のその地方やその場にある名物料理や珍しいものを食べたいと考えている。また、家庭の味や行事食を心から美味しいと思えるもの（愛情たっぷりの手料理）を、家族や親しい仲間と囲んだ食卓で味わうことこそ喜びと考え大事にしています。

皆さんはいかがですか。旅先で全国チェーン某店の「ハンバーガー」よりご当地の「ハンバーガー」を選択されませんか……

孤食でなく家族や仲間たちとたわいもない話をしながら、楽しく食事ができることが最高の幸せであると考えています。

ラーメン【拉麺】

鳥根県には地名が付くラーメンがあるのかな。？ お隣の鳥取県には「鳥取牛骨ラーメン」がありますね。皆さんはご当地ラーメンをどれくらい食べられていますか。北から、旭川、札幌、喜多方、和歌山、尾道、博多、長浜、熊本、沖縄そばなど、全国には名の知れたラーメンがたくさんありますね。（美味しいか美味しくないかは好みの問題なので、味については触れません。）

ところでラーメンは、スープ・麺・具などを碗や丼に盛られ「1杯」と数えますが、不思議なことがあります。店内に入りラーメンを注文すると、厨房に向かって威勢よく「ラーメン1丁」と店員が伝える。なぜ「1丁」と数えるのか調べてみると、漢字の「丁」には、最も良い時期に盛んな様子を表す意味もあり、大衆的なラーメン店内の雰囲気を活気づけるために、注文を数える際に用いられるようになったようです。

数え方「杯」

6月12日～7月13日の期間、ブラジル連邦共和国で2014 FIFA World Cupが開催されます。日本代表が活躍し大いに盛り上げたいものです。

サッカーワールドカップを漢字で表すと「蹴球世界杯」となるのかな。そこで、「杯（はい・Cup）」について考えてみたい。

イカは生きているときには、「1匹」と数えますが、ひとたび商品となって市場に出ると「1杯」と数えます。商品になっても「1匹」と数えることができますが、その場合は、活きのよさ、まるで生きていたかのような新鮮さをアピールする場合に限られるようです。

イカを「1杯」と数える由来は、「世界杯」と書かれた優勝カップの形を思い浮かべるとわかりやすいです。漢字の「杯」は胴の部分が丸く、中に水などを注ぎ込めるような壺型（かめがた）の容器を表しています。イカの胴体も、イカ飯やイカ徳利にできるような形になっており、漢字の「杯」のイメージにぴったりするので、「杯」で数えるようになったそうです。おもしろいですね。

FIFA World Cupに出場する「ザックジャパン」。「杯・Cup」の栄冠に輝くためには、初戦のコートジボワールとの戦いが重要になってきます。初戦で「1敗」することはグループ突破に大きく影響するので避けなければなりません。「がんばれ！ ニッポン」